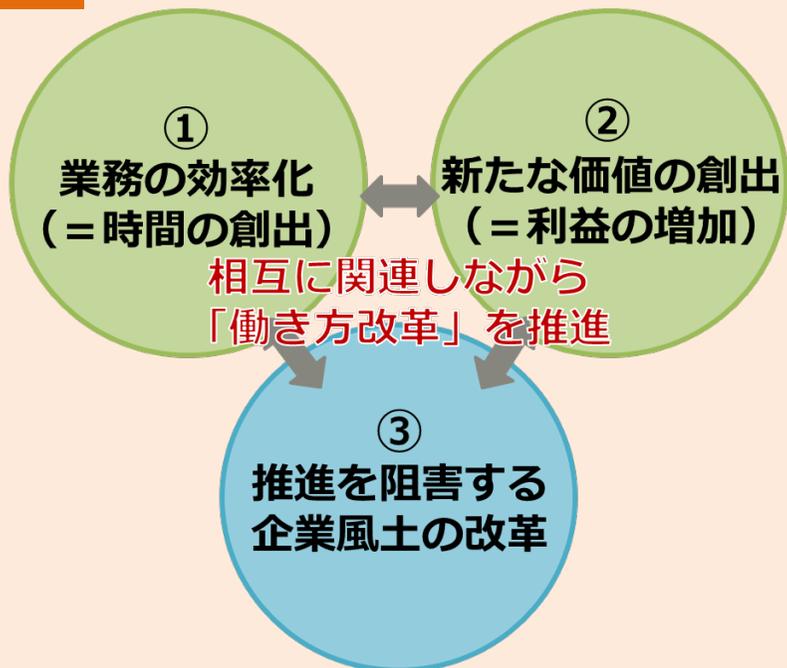


本社を移転するに至った背景

働き方改革推進の必要性と新しいオフィスの形の模索

社内 働き方改革推進上の課題



事業面 事業上の課題

オフィスのあり方に関する環境の変化加速

働く場所が多様化

ワーカーの役割がより
クリエイティブな方向にシフト

オフィスを取り巻く環境の急速な変化を先取りし、発信していく必要性が増しているなか、三菱地所自身が変わり続けなければならないと考え、働き方改革の観点も含め、移転を決定

本社移転のBefore-After

コミュニケーションを活性化し、より生産性の高いオフィス空間へ

Before 大手町ビルディング



空室の活用によりフロアが点在

部署単位に区切られた部屋

他部署への移動の際、共用部を通過

担当役員は個室、部長はひな壇

After 大手町パークビル



グループアドレスの導入
ペーパーストックレス

4層の専用部を
内部階段で連結

目的に応じて選択できる
多様なスペース

担当役員は個室を廃止し、
部長もグループアドレスの対象



『WaaS』を見据えた『FM 3.0』

『オフィス』(FM1.0)⇒『ワークプレイス』(FM2.0)の転換は中間地点
新たな働き方に対応した『WaaS』(FM 3.0)への進化を見据える

今回実施したFM3.0につながる施策

- ① ワークプレイス×制度×IT整備
- ② 働く場所の制約を緩和
(指紋認証、位置情報活用)
- ③ 新たな価値を生む仕掛けづくり
(実証実験、位置情報データ活用)
- ④ 低付加価値業務の合理化 (コンシェルジュ導入)
- ⑤ ナレッジ共有 (イベント)

実現のための施策

見学ツアーを通じた
社会への普及促進

開発を通じた
街への展開

目指すべき姿

自由に働けて人間ならではの価値を生む場や仕掛けの提供